

令和 5 年度病虫害発生予察情報 第 11 号（2 月予報）

群馬県農業技術センター
環境部 発生予察係
（病虫害防除所）
TEL 0270-62-1059
FAX 0270-20-8016

【予報の概要】

作物名	病虫害名	対象地域名	発生時期	発生量
施設果菜類	コナジラミ類	施設栽培地帯全域	—	並
	灰色かび病	施設栽培地帯全域	—	並
トマト	疫病	施設栽培地帯全域	—	並
キュウリ	べと病	施設栽培地帯全域	—	並
	うどんこ病	施設栽培地帯全域	—	並
イチゴ	うどんこ病	施設栽培地帯全域	—	並
	アブラムシ類	施設栽培地帯全域	—	並
	ハダニ類	施設栽培地帯全域	—	やや多

（発生時期の—は連続発生）

【主な病害虫の発生予報】

I) 施設果菜類

灰 色 か び 病	発 生 地 域	発 生 時 期	発 生 量
	施設栽培地帯全域	—	並

1 予報の根拠

- (1) 現在までの発生量は平年並である。
- (2) 今後1か月の気象予報(2月1日発表)によると、平均気温は平年に比べて高い確率60%、降水量は平年並、または平年に比べて多い確率ともに40%、日照時間は平年に比べて少ない確率40%である。

《発生しやすい条件：20℃前後で、湿度が高く日照が少ない場合》

2 防除上注意すべき事項

- (1) 今後の天候は平年に比べて降水量が多く、日照が少ない予報である。施設を密閉すると施設内が多湿となり発生が助長されるので、多かん水を避け、循環扇や暖房機等を用いた通風を行うなど、施設内の適切な湿度管理に努める。
- (2) 発病葉、発病果や花卉は伝染源となるので、速やかに取り除き、施設外で適切に処分する。
- (3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連続散布を避ける。また、薬剤散布は葉裏まで薬液が十分かかるよう丁寧に行う。

II) イチゴ

ハ ダ ニ 類	発 生 地 域	発 生 時 期	発 生 量
	施設栽培地帯全域	—	やや多

1 予報の根拠

- (1) 現在までの発生量は平年並であるが一部でやや多い。
- (2) 今後1か月の気象予報(2月1日発表)によると、平均気温は平年に比べて高い確率60%、降水量は平年並、または平年に比べて多い確率ともに40%、日照時間は平年に比べて少ない確率40%である。

《発生しやすい条件：生育適温(20～30℃)で、晴天が続く乾燥条件の場合》

2 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場内で局所的に発生することがあるので、ほ場全体をよく観察する。
- (2) 発生が多くなると防除が困難となるので、早期発見及び早期防除に努める。
- (3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連続散布を避ける。また、薬剤散布は葉裏まで薬液が十分かかるよう丁寧に行う。
- (4) 感受性が低下している薬剤もあるため、効果のある薬剤をよく確認して薬剤散布を行う。
- (5) 天敵を導入しているほ場では、天敵に影響の少ない薬剤を選択して散布する。

【その他の病害虫の発生予報】

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	特記事項
施設果菜類	コナジラミ類	—	並	現在までの発生量は平年並。 タバココナジラミは、トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)、ウリ類退緑黄化ウイルス(CCYV)を伝搬するため、施設内に黄色粘着板を設置するなど、早期発見に努める。
トマト	疫病	—	並	現在までの発生量は平年並。 多湿管理下で発生量が増加するため、適切な湿度管理を行う。また、被害茎葉、被害果実は伝染源となるため速やかに除去し、施設外に持ち出して適切に処分する。
キュウリ	べと病	—	並	現在までの発生量は平年並。 肥料切れや草勢の衰えにより発生が助長されるため、適切な肥培管理を行う。また、多湿管理下で発生量が増加するため、適切な湿度管理を行う。
	うどんこ病	—	並	現在までの発生量は平年並。 多発してからの薬剤散布は効果が劣るので、発生を認めたら早めに防除する。
イチゴ	うどんこ病	—	並	現在までの発生量は平年並。 多発してからの薬剤散布は効果が劣るので、発生を認めたら早めに防除する。
	アブラムシ類	—	並	現在までの発生量は平年並。発生が多くなると防除が困難となるため、早期発見・早期防除に努める。

【今月の気象情報】

関東甲信地方 1 か月予報

(2月3日から3月2日までの天候見通し)

令和6年2月1日

気象庁 発表

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞

要素	地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信地方	10	30	60
降水量	関東甲信地方	20	40	40
日照時間	関東甲信地方	40	30	30

＜予想される向こう1か月の天候＞

向こう1か月の平均気温は高い確率60%、降水量は平年並、または多い確率ともに40%、日照時間は少ない確率40%です。

週別の気温は1週目が高い確率70%、2週目は平年並の確率50%、3～4週目は平年並、または高い確率ともに40%です。

＜参 考＞ 前橋地方気象台観測平年値(2月)

	平均気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(時間)
1 半旬	3.7	3.9	36.0
2 半旬	3.9	3.9	35.9
3 半旬	4.3	5.4	35.5
4 半旬	4.7	5.9	35.5
5 半旬	5.2	5.6	35.4
6 半旬	5.7	3.9	20.8

農薬の登録内容は随時変更されておりますので、防除薬剤については指導機関にご相談下さい。
また、以下のホームページでも確認できますのでご利用下さい。

◆ 農林水産省 農薬コーナー (農薬に関する様々な情報)

<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>

◆ (独) 農林水産消費安全技術センター (最新の農薬登録状況の検索や登録・失効農薬情報等)

<http://www.acis.famic.go.jp/index.htm>

◆ 群馬県 農作物病虫害・雑草防除指針

<https://www.pref.gunma.jp/06/f0900064.html>

◆ 群馬県農業技術センター 病虫害発生予察情報一覧

<https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>

◆ ぐんま病虫害ライブラリー

<https://sites.google.com/view/g-byougai>



病虫害発生予察情報
一覧はこちら！